

鳥取県地震

2021年（令和3年）3月

鳥取地方気象台

目次

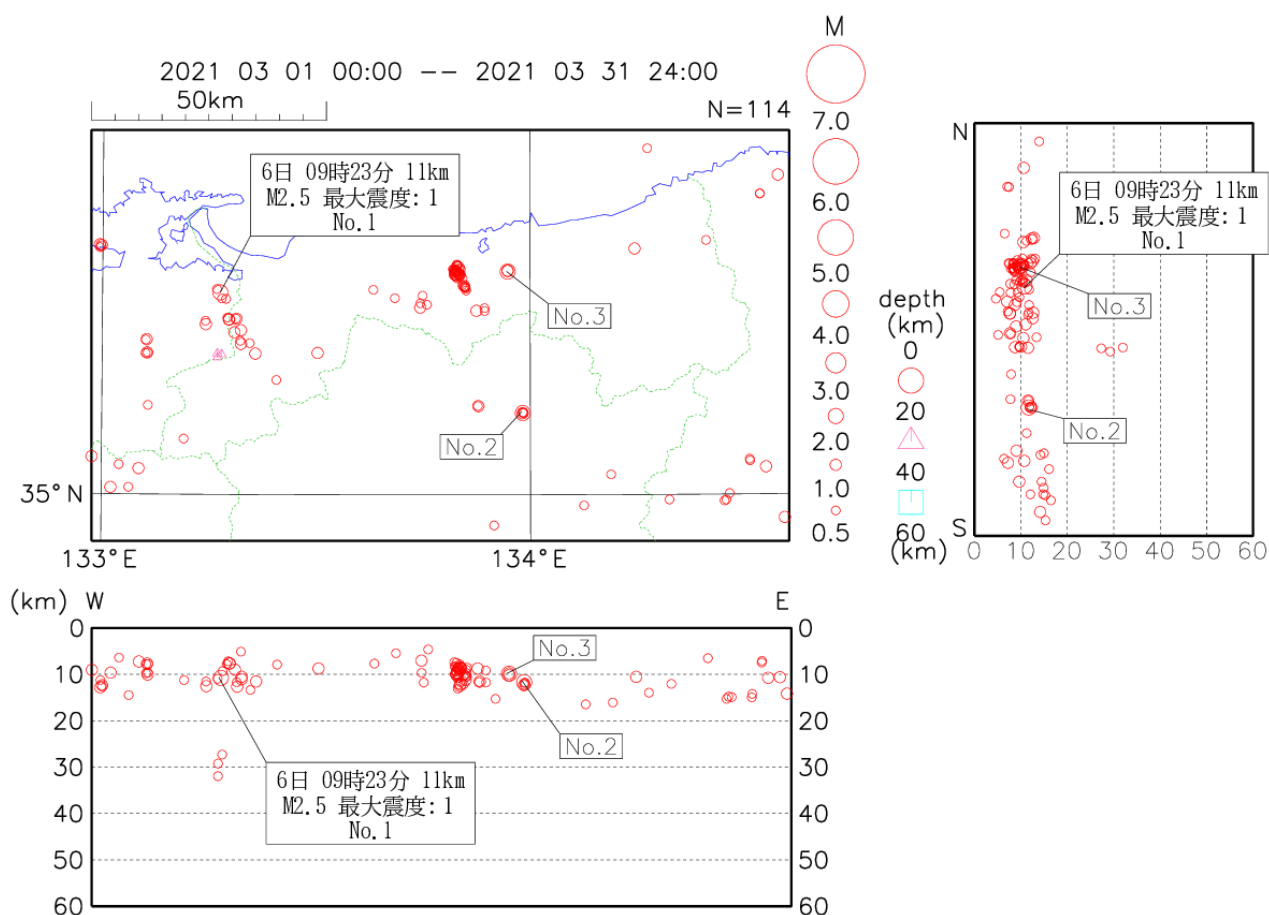
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
地震情報発表の流れ	3

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊ 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2021年3月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（先月は2回）でした。

6日09時23分 島根県東部の地震（深さ11km、M2.5）により、鳥取県米子市・境港市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は3回（前月は2回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2021年3月1日00時00分～2021年3月31日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2021年03月06日09時23分	島根県東部	35° 23.2' N	133° 16.5' E	11	2.5	1
2	2021年03月07日16時09分	岡山県北部	35° 9.4' N	133° 58.9' E	12	2.5	—
3	2021年03月20日16時12分	鳥取県中部	35° 25.7' N	133° 56.8' E	10	2.2	—

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

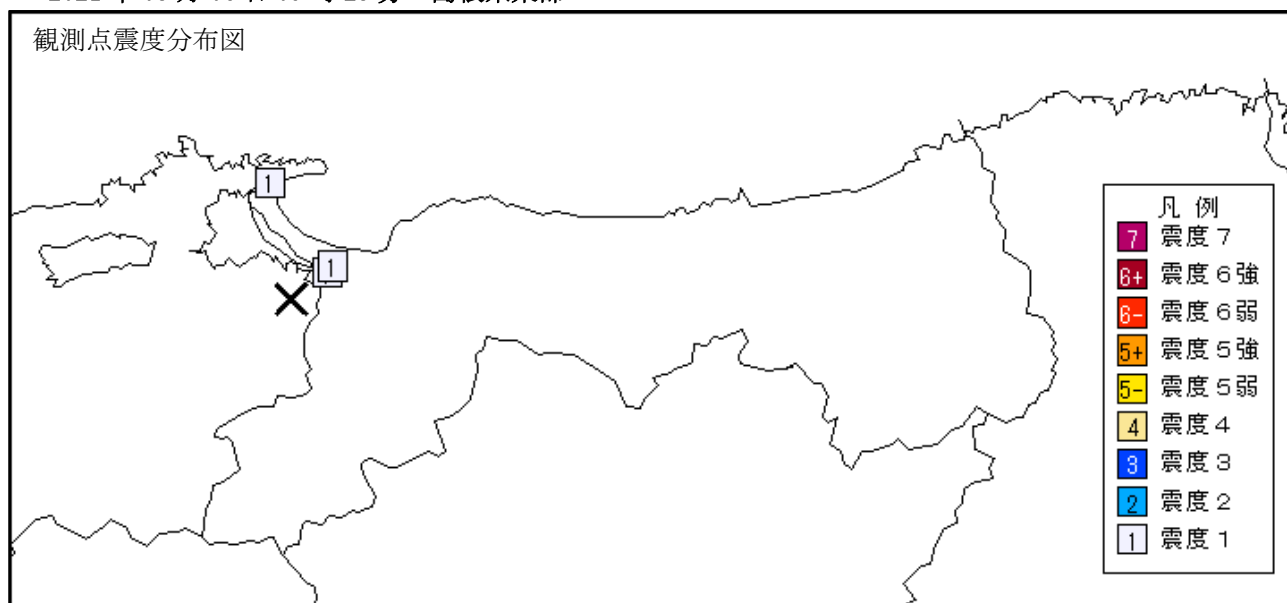
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2021 年 03 月 06 日 09 時 23 分	島根県東部	35° 23.2' N	133° 16.5' E	11km	M2.5
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 米子市博労町, 米子市東町*, 境港市東本町					

*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2021 年 03 月 06 日 09 時 23 分 島根県東部



(3) 地震・津波の知識

地震情報発表の流れ

気象庁では、東京と大阪で並行して全国の地震活動を体に感じない地震も含めて 24 時間監視しています。そして、国内の震度観測点で震度 1 以上の地震を観測した場合には、震源の位置や規模、観測された震度等の地震情報を発表します。図 1 は、津波警報等の発表がない場合に発表する地震情報の流れです。

震度 3 以上の地震の発生が確認された場合、地震の検知から約 1 分半で、**震度速報**を発表します。震度 3 以上の場所は、地域名で発表します。たとえば、鳥取県では、「鳥取県東部」、「鳥取県中部」、「鳥取県西部」となります。この情報は、いち早く大きな揺れを観測した地域をお知らせするので、防災対応のトリガーとなります。

地震の発生から 1 分程度を目標にその震源や規模を決定し、津波の有無の判断を行います。震度 3 以上を観測していて津波の心配がない、または、若干の海面変動が予想される場合であれば、津波予報を兼ねて**震源に関する情報**を発表します。

震源・震度に関する情報は、震度 3 以上を観測した市町村をお知らせします。震度計が複数ある市町村では、域内で観測された最大の震度となります。また、震度 5 弱以上の揺れが生じたと考えられる地域であるにもかかわらず、震度を入手していない地点がある場合（未入電といいます）は、その市町村名を発表します。万一、震度データが気象庁まで届かない場合でも被害が発生しうる大きな揺れが生じている可能性があることをお知らせするための措置です。

最後に、**各地の震度に関する情報**が発表されます。震度 1 以上を観測したすべての観測点ごとの震度と、5 弱以上と推定される観測点で震度を入手できていない観測点名をお知らせします。

このように、時間の経過とともに、より詳細な情報を発表しているのです。

他に、国外でマグニチュード 7 以上の地震が発生した場合、もしくは著しい被害が発生した可能性のある地震が起きた場合に、**遠地地震に関する情報**を発表します。海域で発生した地震の場合は津波の日本への影響や、実際に観測された値についても言及します。

また、顕著な地震が発生した後、より詳しい震源要素が決定できた場合や、その震源付近で地震活動が活発化した場合、震度 1 以上の地震を観測した回数を**その他の情報**として発表しています。

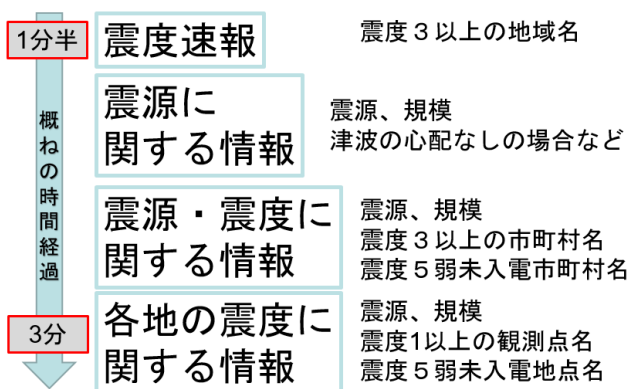


図 1 地震情報発表の流れ（津波のない場合）

こうした地震情報は専用回線を通じて自治体や防災対応機関、マスコミ等へ配信され、テレビやラジオ、Web サイトやスマートフォン、防災無線などを通じて住民の方々へお伝えしています。気象庁では、地震発生時の防災関係機関の初動対応を支援するため、迅速に地震の情報を発表するよう努めています。それぞれの情報の特徴をご理解いただき、防災対応に活かしていただきますようお願いします。

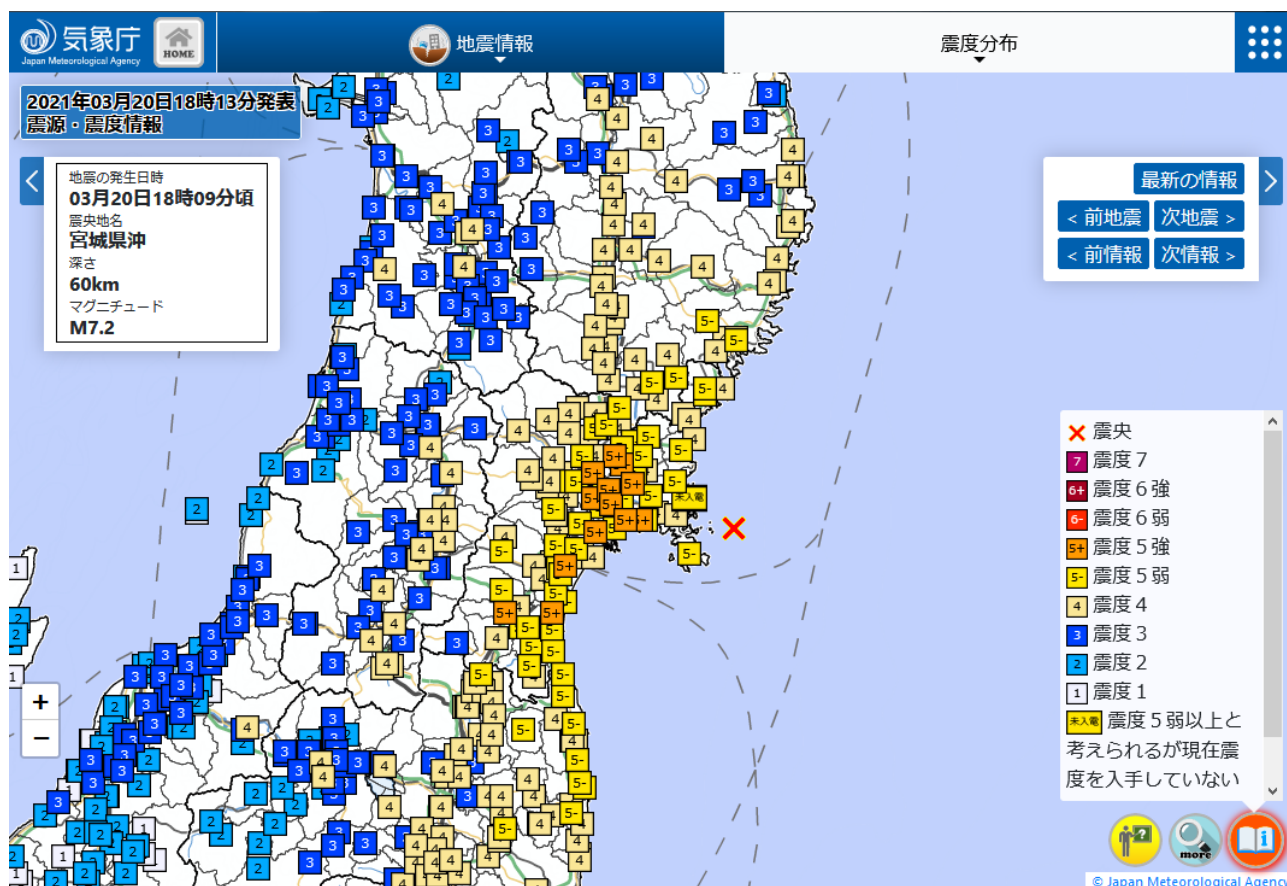


図2 気象庁 HP での地震情報表示

(参考)

- 気象庁：地震情報について
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/seisinfo.html>
- 気象庁：最新の地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 気象庁：推計震度分布図
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eev/data/suikai/>

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和3年3月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html>

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313